

個人投資家の皆様へ

株式会社島津製作所の概要と成長戦略 (東証プライム市場：証券コード7701)

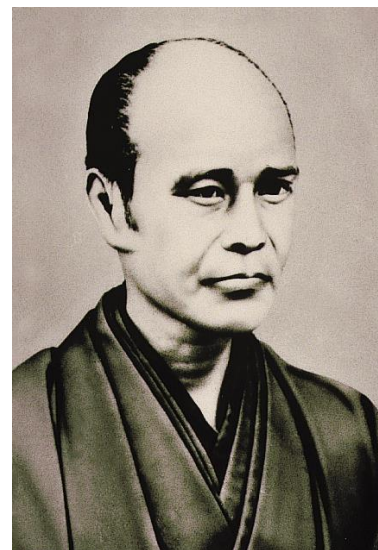
コーポレート・コミュニケーション部IRグループ | 2023年4月6日

01 会社概要

会社概要

社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章 : 地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します

社名・所在地 株式会社 島津製作所
 京都市中京区西ノ京桑原町1
創 業 1875年（明治8年）3月
資 本 金 266億円
売 上 高 4,282億円
従 業 員 単独3,491名 連結13,499名
連結子会社数 国内23社 海外53社（2022年3月31日現在）



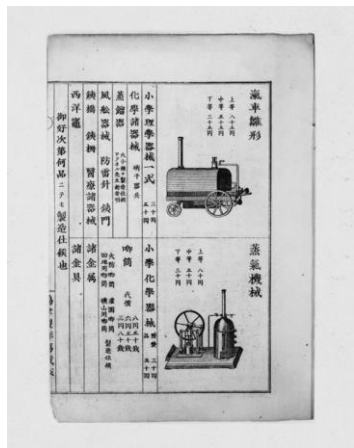
初代島津源蔵
(1839-1894)



本社・三条工場（京都市）

歴史 事業の変遷

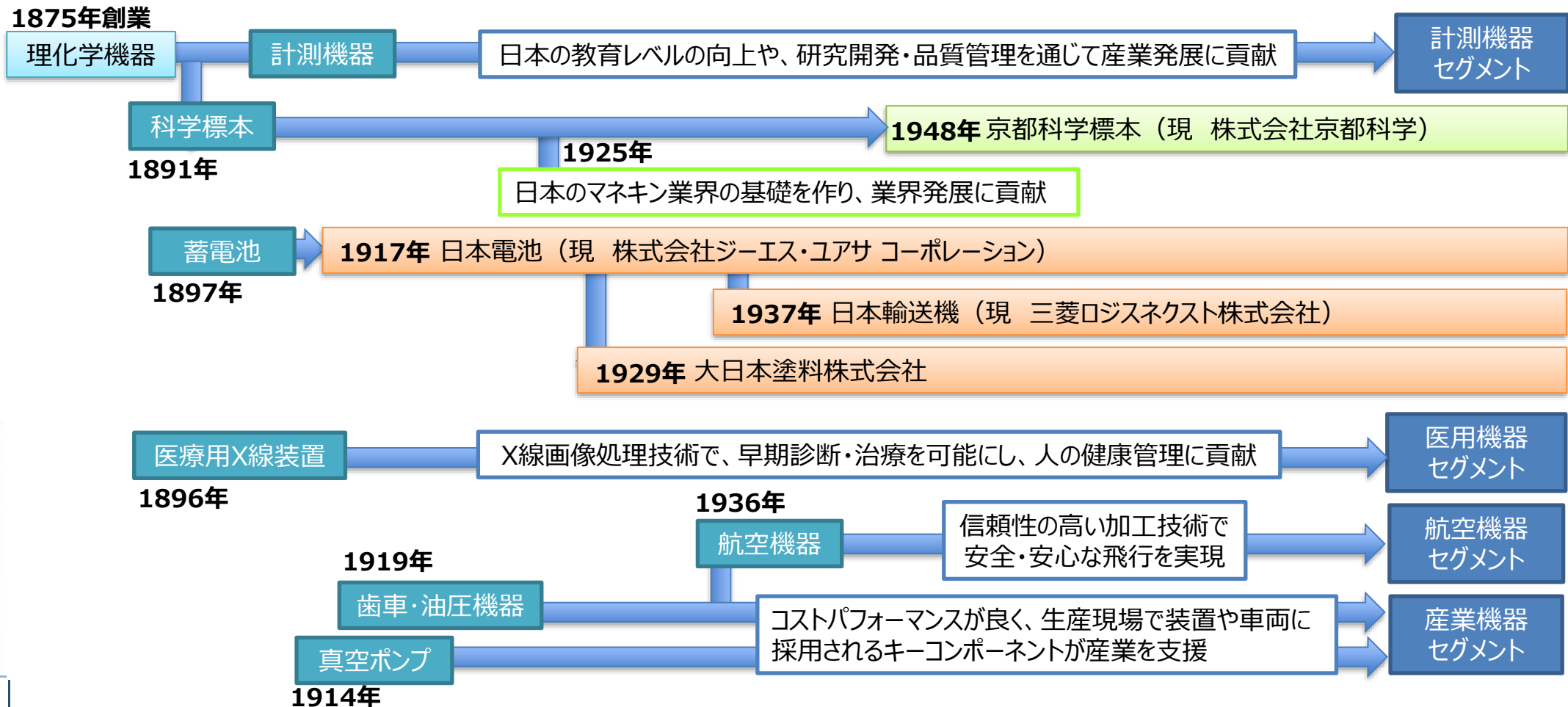
■ 二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化学器械目録表
(島津製作所最古の製品カタログ)



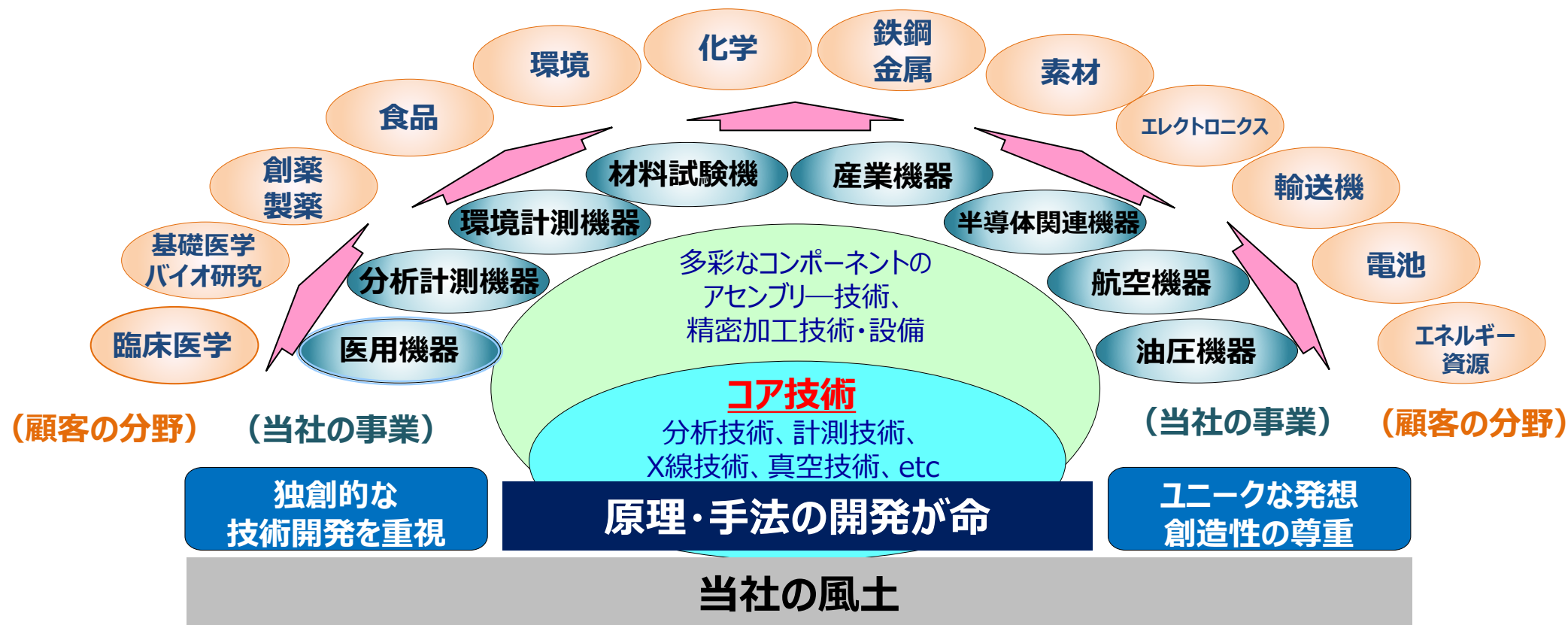
二代 源蔵
(1869-1951)



※(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト(株)、大日本塗料(株)、(株)京都科学はグループ会社ではございません

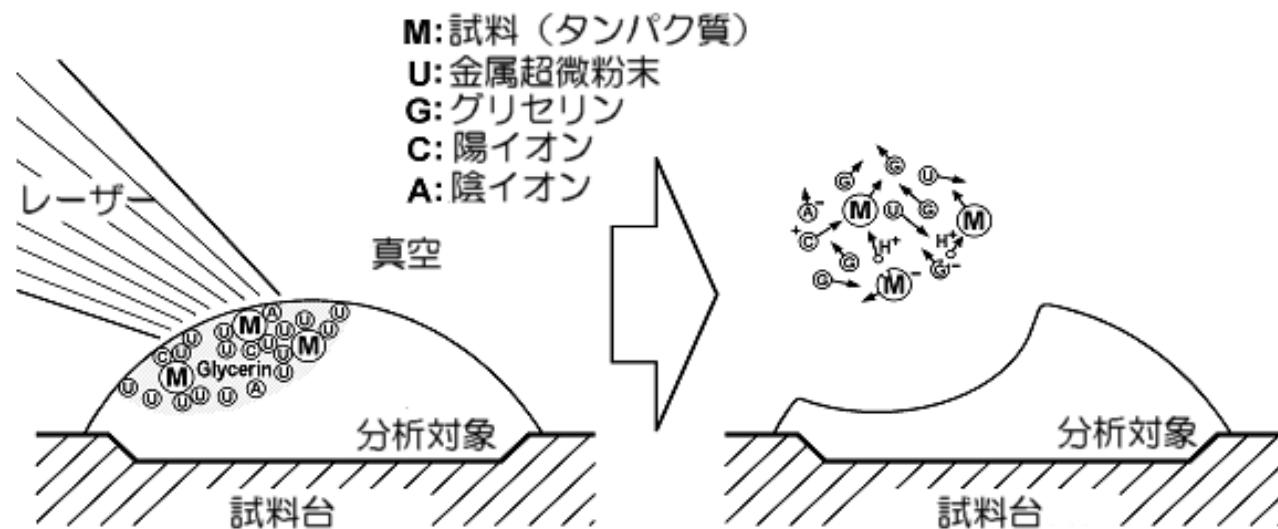
148年にわたる事業継続の要因

- 時代が変わっても「科学技術で社会に貢献する」の社是に忠実に行動
- ニッチであっても、様々な分野の顧客の要請に真摯に応える姿勢
- 産業の進歩・発展に対応し、貢献するための技術開発力の追求



- 2002年田中耕一がノーベル化学賞を受賞

ソフトレーザ脱離イオン化法



- ・質量分析でタンパク質を研究する道が開かれる
- ・病気の診断や薬の開発に不可欠な技術
- ・質量分析計を活用した病気の早期診断

たんぱく質を世界で初めてイオン化することに成功

グローバル事業展開

■ 25か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2021年度の海外売上高比率は53%）

- アプリケーション開発
- 研究・開発
- 主要販売会社
- 製造
- 販売・サービス
- ★ イノベーションセンター



連結子会社 海外53社 国内23社 2022年3月31日現在

研究開発体制

- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

アプリケーション 技術開発



Shimadzu Tokyo Innovation Plaza
----- (2023年1月開所)



イノベーションセンター

アプリケーション
開発センター

ニーズ

特許保有件数
6,776件
(うち国内3,917件、
海外2,859件)
2021年度実績

研究開発費
163億円
対売上高比率4.0%
2021年度実績

製品・サービス
の提供

基盤技術研究



SHIMADZU mirai 共創ラボ

製品・ サービス開発



ヘルスケアR&Dセンター



英国

Kratos



中国

開発センター

基礎研究



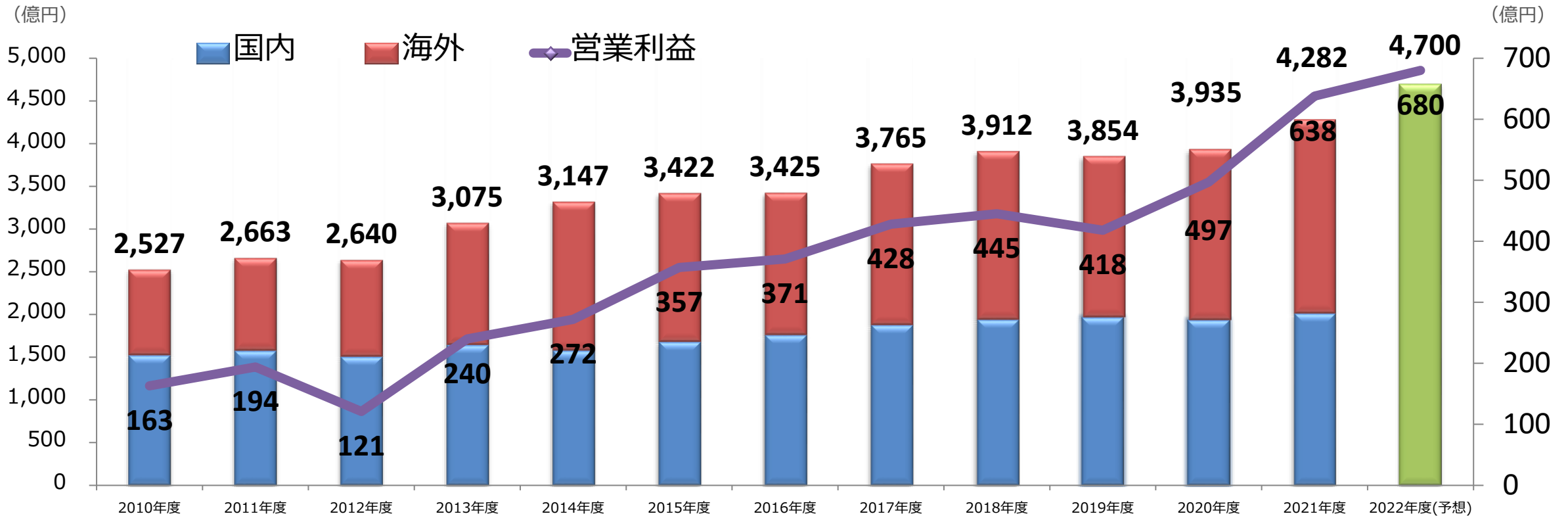
田中耕一記念
質量分析研究所



研究所

売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率は、売上高5%、営業利益12%
- 2022年度も3期連続過去最高の売上高、営業利益を目指す



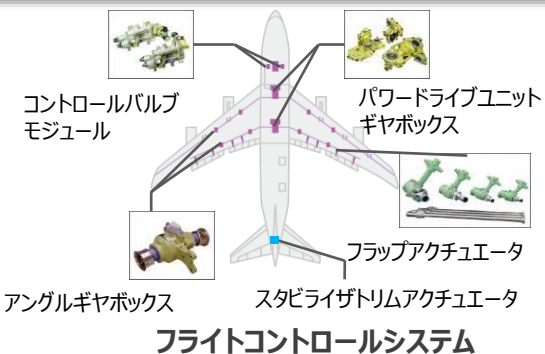
02 事業概要

4つの事業セグメント

■ 計測・医用・産業・航空の4つの事業を展開

航空機器

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献



計測機器

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献



高速液体クロマトグラフ質量分析計

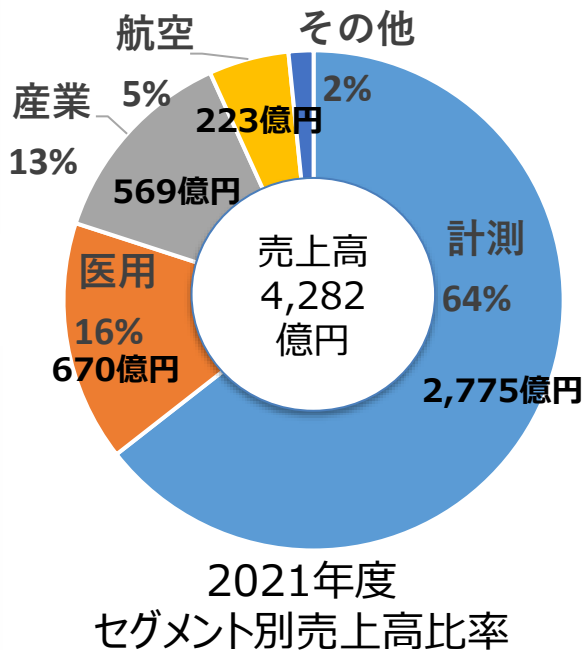
産業機器

高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献



医用機器

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献



計測機器事業①

- 見えないものをみる（見る・観る・診る）、測る
- 最先端の分析技術でヘルスケア、マテリアル、環境・エネルギーなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

ヘルスケア

- 認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等、人々の健康維持に貢献
- 新薬開発や生産性向上に貢献
- 残留農薬など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止に貢献



液体クロマトグラフ
質量分析システム



液体クロマトグラフ



ガスクロマトグラフ



新型コロナウイルス検出試薬キット

全自動PCR
検査装置



マテリアル

- 各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、新素材開発に貢献

超音波光
探傷装置



精密万能
試験機

環境・エネルギー

- クリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献

オンライン全窒素・
全リン計



エネルギー分散型蛍光X線分析装置
EDX-LE

計測機器事業②

■「見えないもの」を「見えるようにする」ことで、人の健康、安心・安全や産業の発展を支えています。



水

本当に綺麗な水？

茶葉

農薬が残ってませんか？

お茶

美味しく出来ていますか？

容器

もっと薄くて軽いものが
できませんか？

排水

お茶を作った後に出てくる
排水は大丈夫？

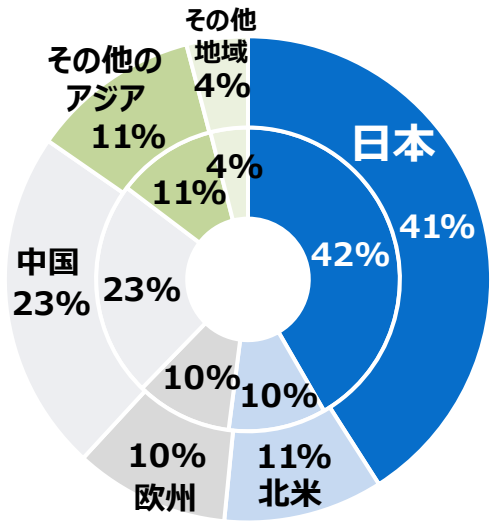
飲用者

お茶を飲むと、健康に対してどんな
効果があるの？

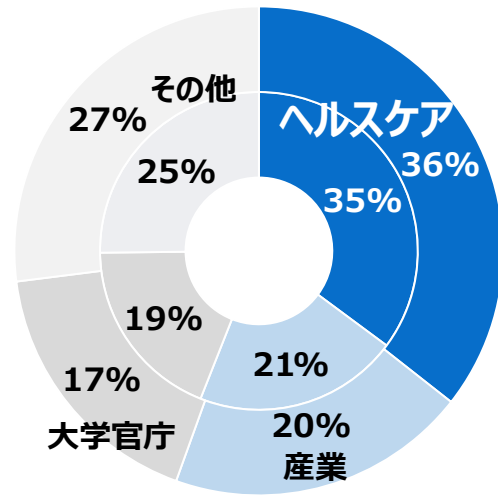
計測機器事業⑤

- 売上高、営業利益・営業利益率いずれも過去最高を更新（2021年度）
- 製薬・ライフサイエンスでの活発な投資を背景に液体クロマトグラフ・質量分析計等の重点機種と消耗品、サービス・メンテナンスなどの収益性の高いアフターマーケット事業を拡大

地域別売上比率

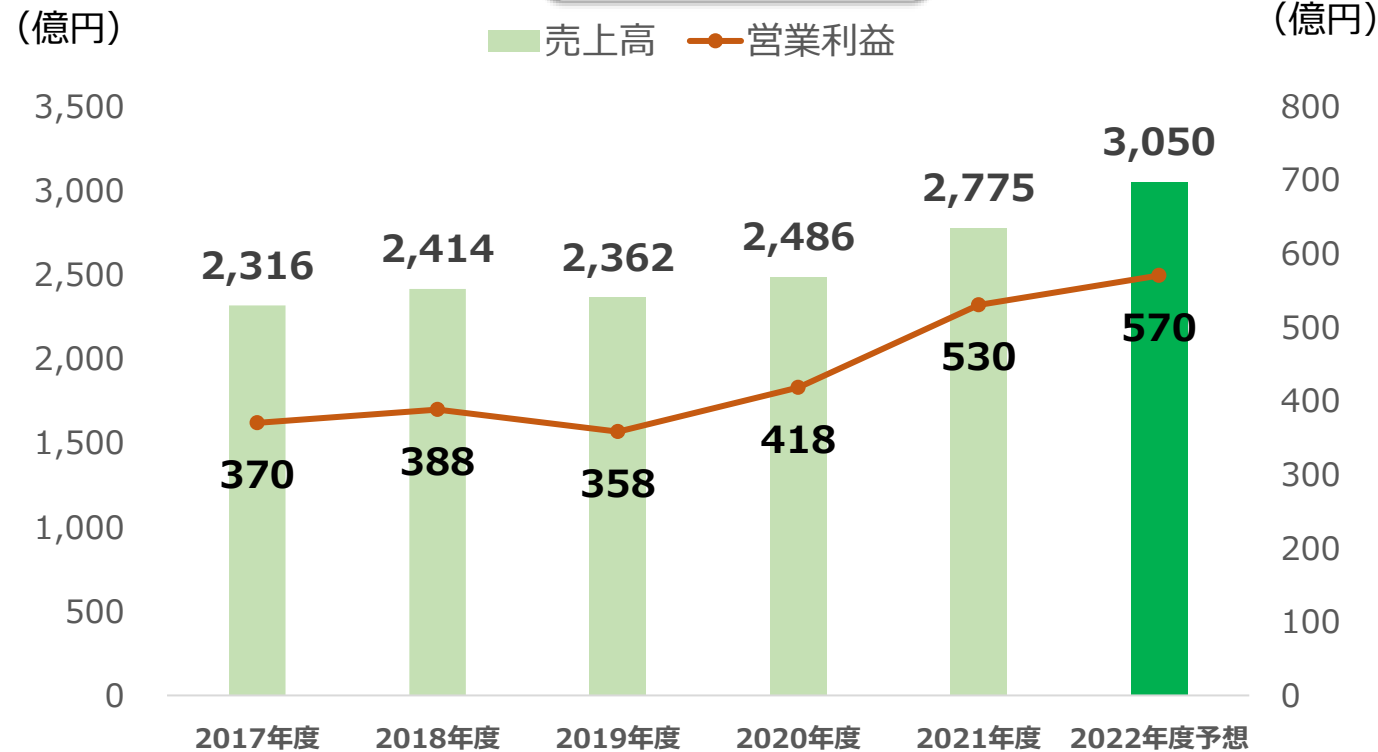


市場別売上比率



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

業績推移



医用機器事業

- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用



一般撮影システム

心疾患・脳血管疾患のカテーテル治療支援



血管撮影システム



心の病の診断や脳卒中リハビリテーションで活躍

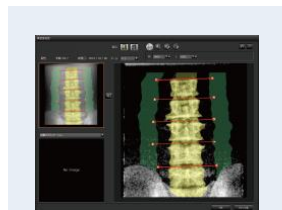


近赤外光イメージング装置

高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応

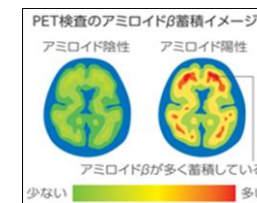


X線TVシステム



骨密度計測

頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

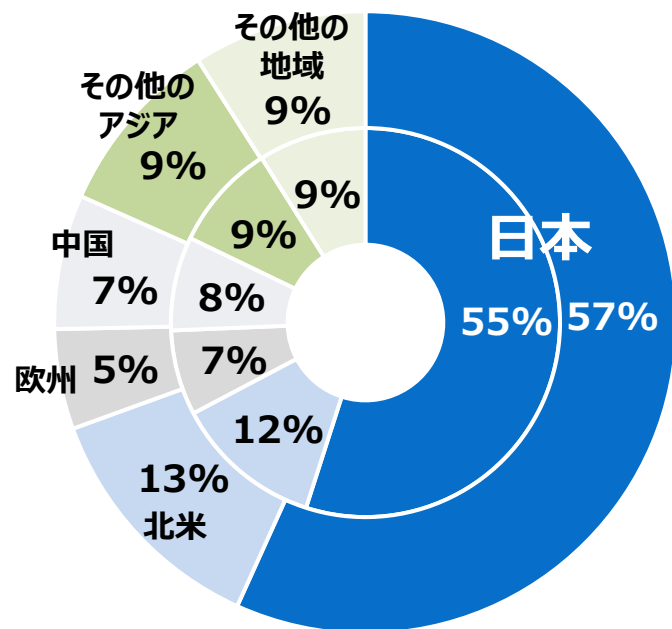
回診用X線撮影装置



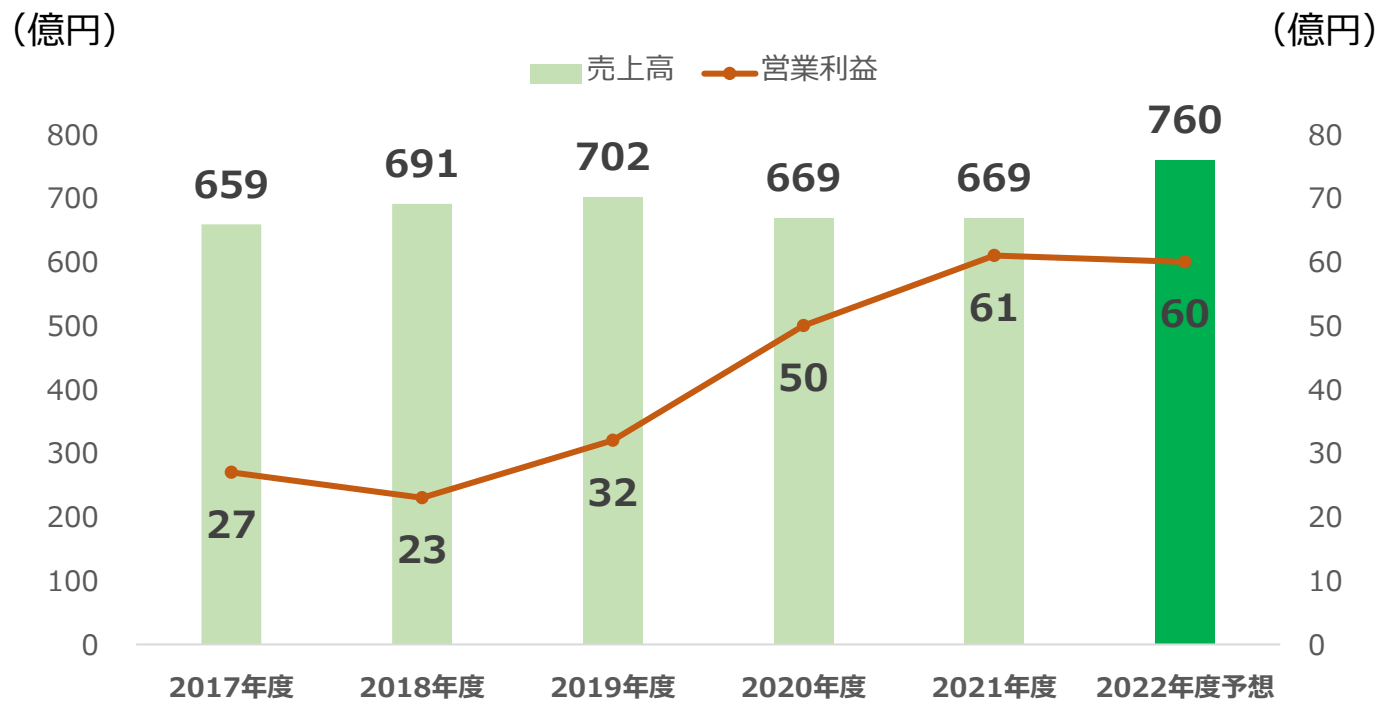
医用機器事業

- 営業利益は過去最高を更新（2021年度）
- 2022年度は画像処理やAI技術などソフトウェアのサブスクリプション事業を展開し、アフターマーケット事業を強化

地域別売上比率



業績推移



※円グラフ外側は2021年度実績、内側は2020年度実績を示す

産業機器事業

- 半導体製造装置向けや、エコガラス・薄膜太陽電池等のコーティング向けが牽引し、ターボ分子ポンプが好調に推移
- 油圧機器がフォークリフト・建機などの市況回復により、日本・北米・中国で増加

半導体、エコガラス、薄膜太陽電池の製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ
主に半導体製造装置に搭載



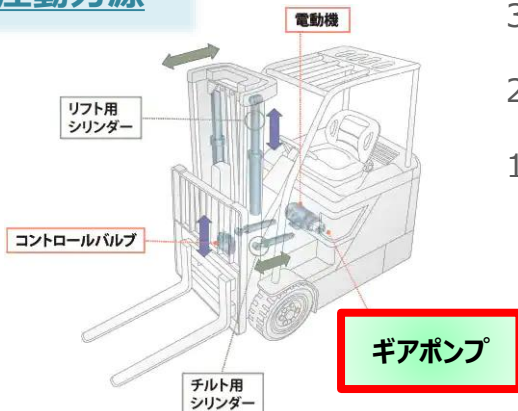
ターボ分子ポンプ

産業車両・建機・農機の油圧動力源

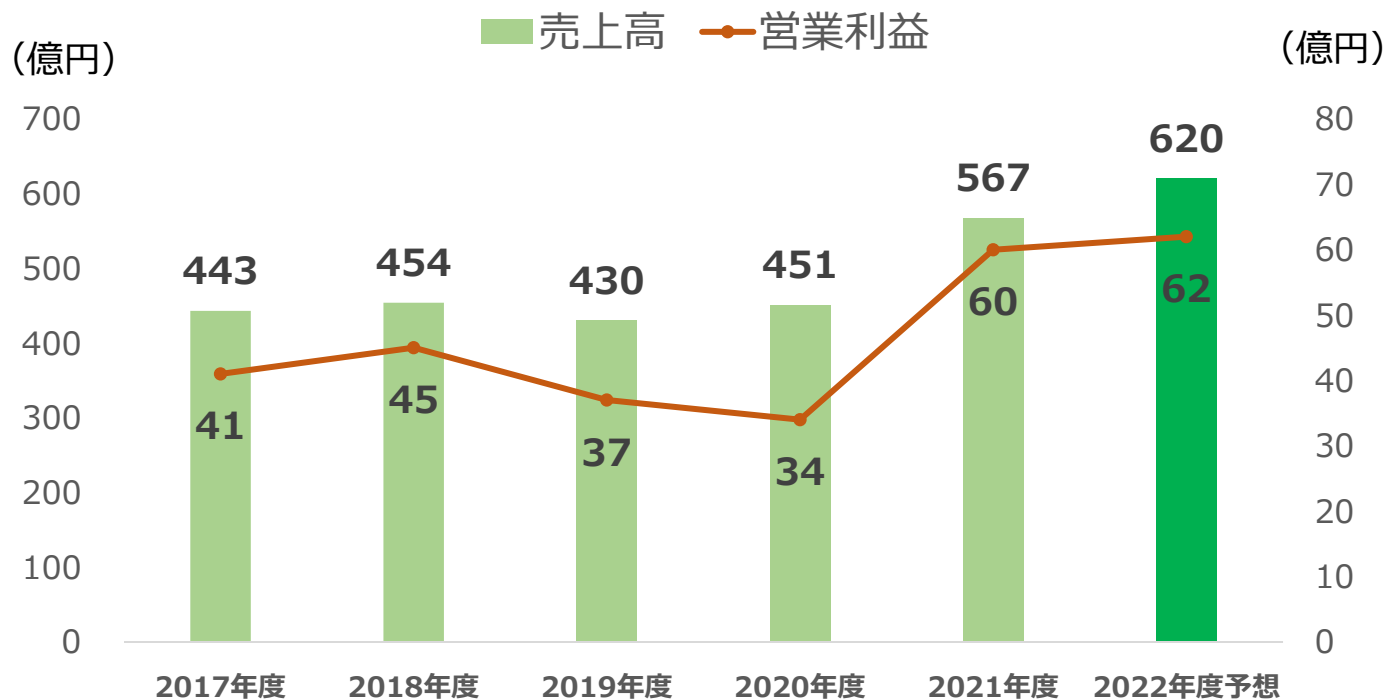
油圧ギアポンプの
低騒音・低振動を実現



油圧ギアポンプ



業績推移



航空機器事業

■ 防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間 = 8：2）

エアマネジメントシステム



ディスプレイシステム



パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



パワー・ドライブ・ユニット・ギヤボックス



コントロール・バルブ・モジュール

コントロール・バルブ・モジュール

スタビライザ・トリム・アクチュエータ



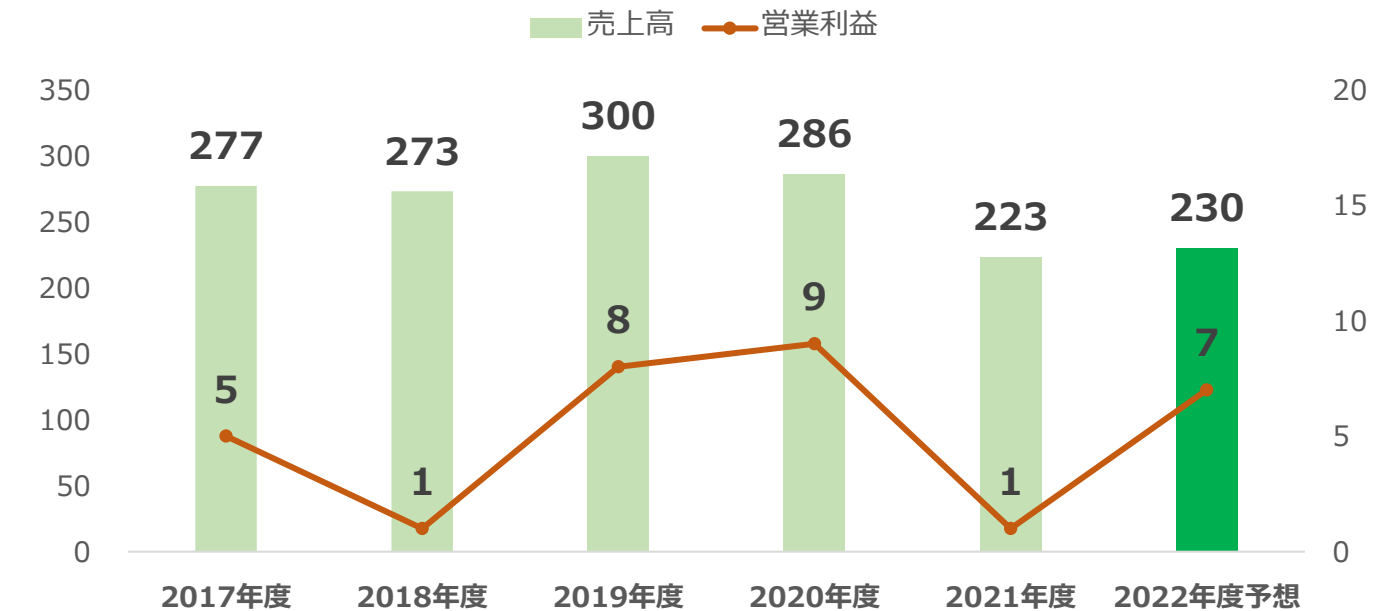
フラップ・アクチュエータ



アングル・ギヤボックス

業績推移

(億円)



(億円)

03 新中期経営計画(2023年度~2025年度)

新中期経営計画はこちらのQRコードからご覧いただけます



当社の目指す姿

- 新型コロナウイルスとの闘いを通して、「人の命と健康」への意識が高まっている
- サステナビリティへの関心が高まり、「地球の健康」が重要社会課題に

ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

マテリアル領域

産業の発展、安心・安全な社会への貢献

グリーン領域

地球の健康への貢献

インダストリー領域

プラネタリーヘルス
(人と地球の健康)の追求



社 是 : 科学技術で社会に貢献する
経営理念 : 「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章

新中期経営計画(2023年度~2025年度) 新中期経営計画の位置づけ

■ 事業拡大と、事業部の垣根を越えてトータルソリューションを提供する企業へ変革



Best for Our Customers !

お客様を中心とする事業展開へ

価値 = お客様の必要な「データ」

- お客様の必要な「データ」をお届けする
トータルソリューション提供企業

「お客様の近くで、お客様の言葉で」



製品を軸とする事業展開

価値 = 製品

- お客様の必要な「製品」をお届けする
ハード提供企業

基本方針

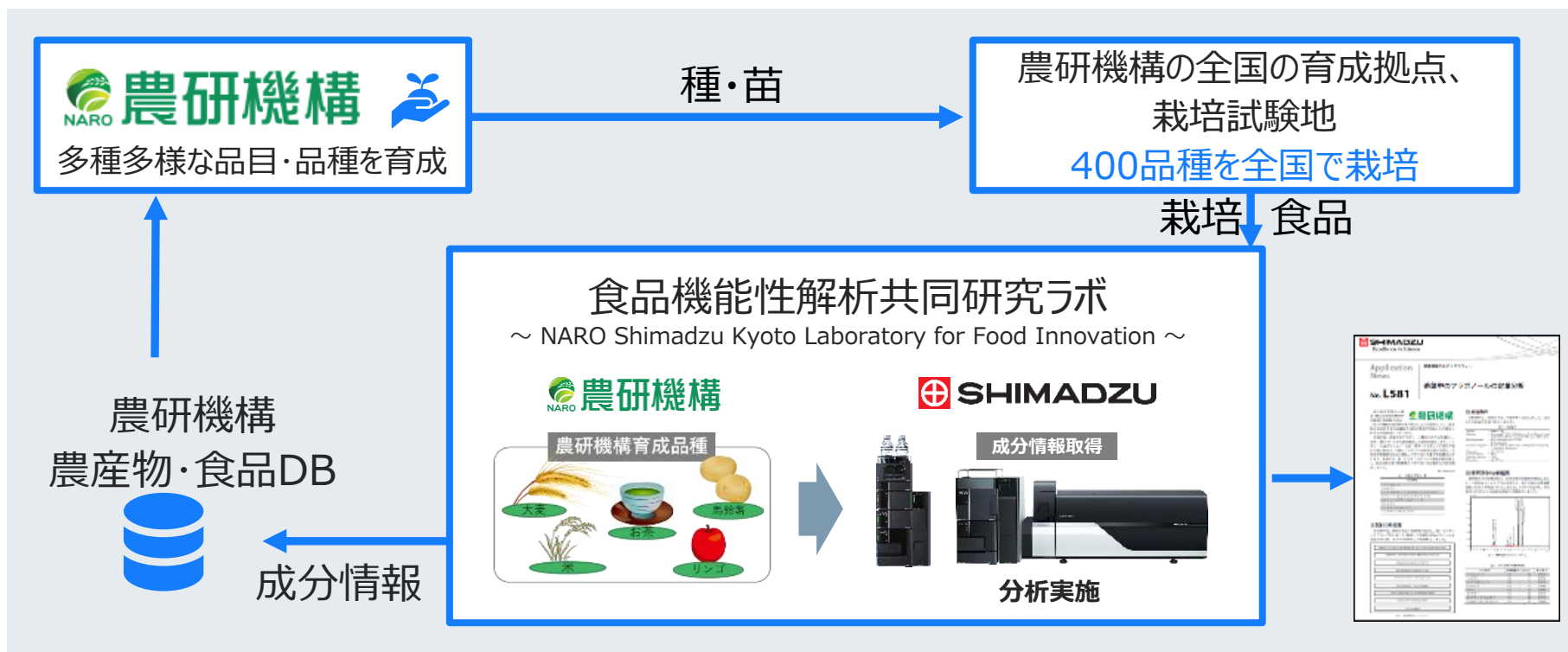
世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベティブカンパニーへ
 ~技術開発力と社会実装力の両輪強化により持続的成長を果たす~



新中期経営計画(2023年度~2025年度)

フードテック向けトータルソリューション

- 飲料・食品企業の商品開発に寄与するトータルソリューション提供
- パーソナルヘルスデータ測定、食品成分分析、健康食提案等の健康トータルソリューション提供
- 標準化によるグローバル展開を推進し世界に貢献



グローバル展開

- 農研機構と協力して世界で流通する食品中の成分ライブラリ策定事業(PTFI)へ参画

- 健康食品市場が拡大するASEAN諸国へ事業展開

科学的な分析を基礎とした機能性食品等による健康長寿社会の実現

GX(グリーントランスフォーメーション)向けトータルソリューション

- カーボンニュートラル社会の実現に貢献
- 製品とアプリケーション開発と 社会実装の両軸で事業拡大
- 標準化・規制対応は国内はNEDO、海外はEPA、ISOとの関係を強化

GX 4 分野

GX・環境・エネルギー

バイオものづくり

- ・バイオ化学品
- ・バイオ燃料

新エネ・創エネ・蓄エネ

- ・水素/アンモニア
- ・次世代電池
- ・再生可能エネルギー

環境・規制

- ・CO₂吸収コンクリート
- ・PFAS
- ・マイクロプラスチック
- ・温室効果ガス

マテリアル

マテリアル・次世代モビリティ

- ・新素材(軽量素材等)開発

短期的な取組み

アプリケーション戦略

- 既存アプリケーションを用いた営業活動を支援
- GX4分野のアプリケーションの開発推進と海外展開

新製品戦略

- 開発段階から標準化・規制に対応
- 新製品をラボスケールから投入しスケールアップを図る

標準化・規制対応戦略

- 国内はNEDO、海外はEPA*、ISO等の規格認定機関との関係強化

*EPA=アメリカ合衆国環境保護庁

中長期的な取組み

国際標準化し
グローバル提供

センサーや消耗品を含め
トータルソリューション提供

メドテック事業の強化

- AIやIoT技術によるイメージングトランスフォーメーション(IMX)の展開
- 液体検体用臨床検査システムの実装と検査試薬の拡充
- 臨床検査プラットフォームによる新ソリューションの提供：骨粗しょう症、認知症、がん領域

画像診断のイメージングトランスフォーメーション(IMX)

- AI画像解析、動画対応
- 診断能力向上、医療従事者の生産性向上、患者拘束時間短縮を実現



(例) AI画像解析による診断能力向上

計測点を修正するとQMSコアに即時反映されます。

液体検体用臨床検査 (ダイアグノスティクス)

臨床診断

プラットフォームを構築し、システムの拡販とリカーリング事業を拡大

微生物検査 (臨床)

ワンストップで微生物検査関連製品を提供

細胞関連事業

商材の拡充・受託サービスの立ち上げ

臨床プラットフォーム (例)

日常の健康管理



生活ログの記録・管理

超早期検査



疾患マーカー分析 (質量分析)

診断



画像診断

治療 (治療支援)



がん光免疫療法

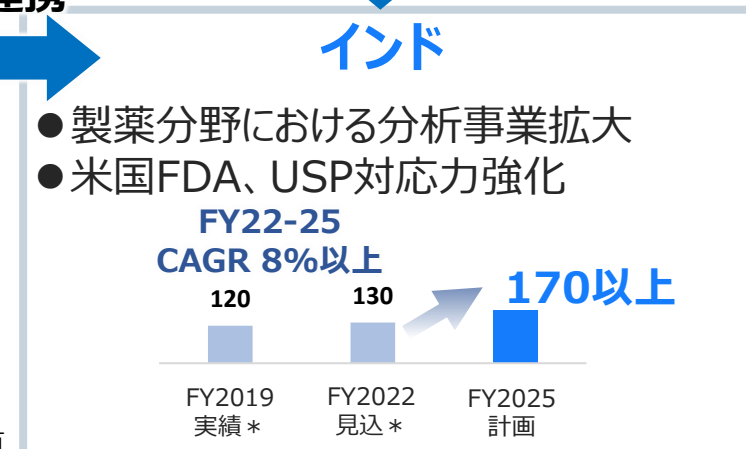
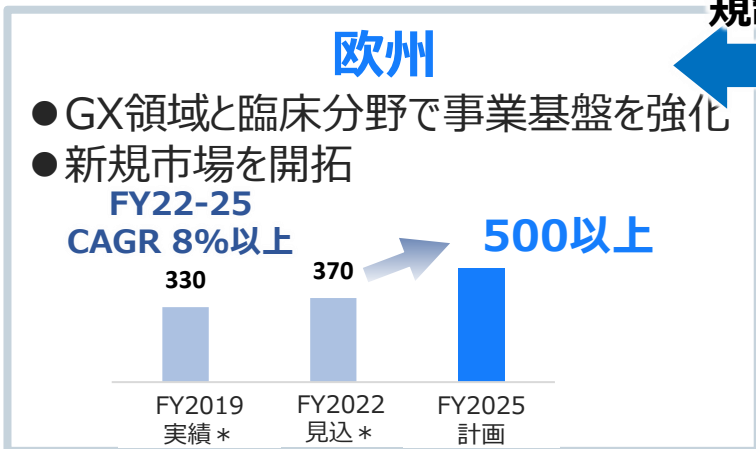
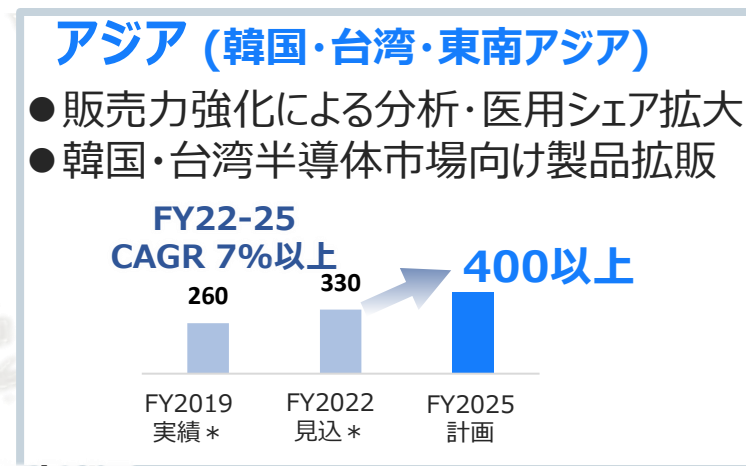
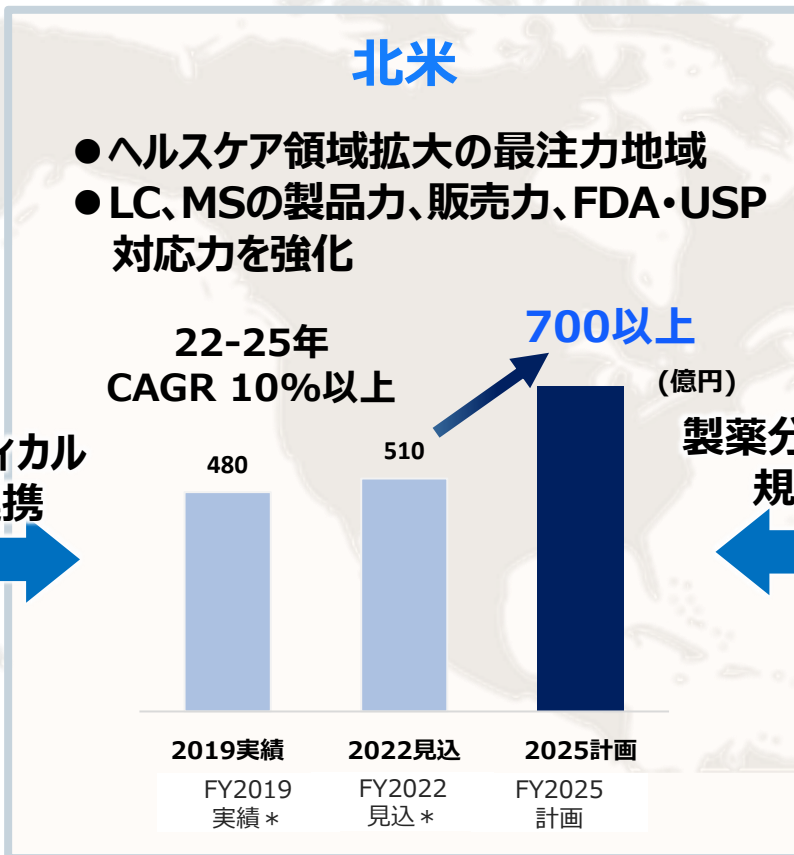
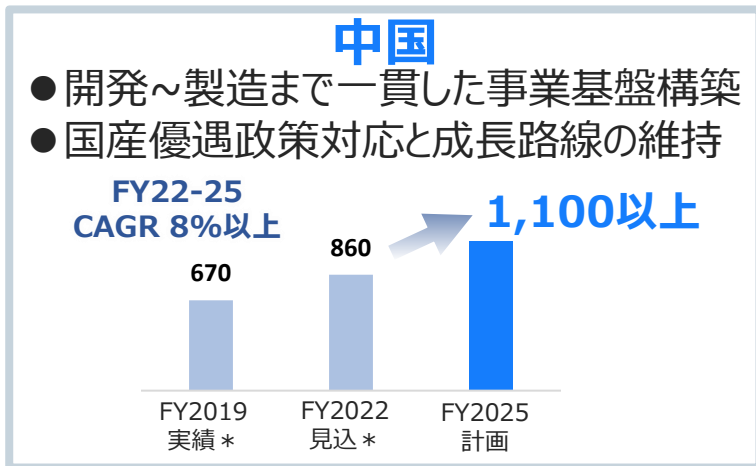
予後管理



投薬管理

海外事業の拡大

■ 市場特性に応じた顧客サポート体制の強化により、販売からサービスに至る最適なトータルサポートを提供



臨床メディカル
規制連携

製薬分野における
規制連携

地域別売上高 (億円)

* FY2019実績、FY2022見込は 1ドル120円、1ユーロ130円換算

人財戦略：島津人の育成

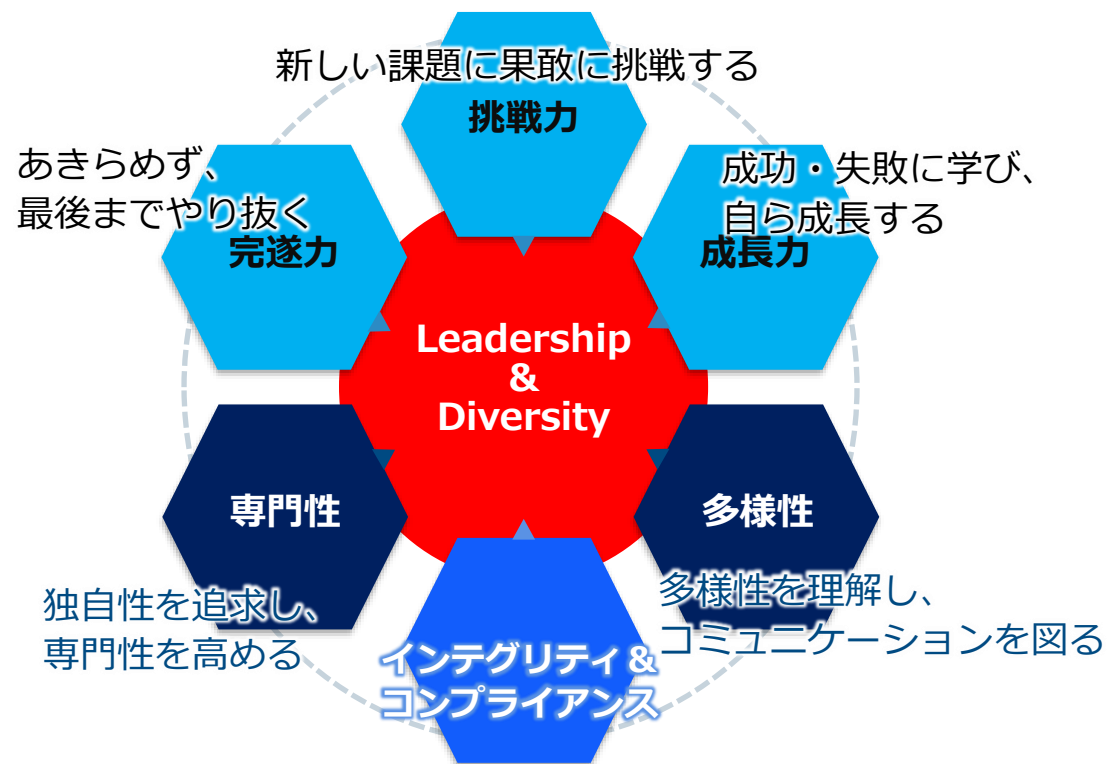
■“Leadership & Diversity”

多様なパートナーとともに、社会課題解決に向けてイノベーションをリードする人財の創出

人財戦略

採用	<ul style="list-style-type: none"> ● 新卒・中途・外国籍にかかわらず柔軟な採用 ● 働き方の柔軟性確保（子育て、介護／場所、時間）
育成	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスリーダー育成プログラムの推進 ● 高度専門人財育成プログラムの推進 ● 各国の大学と共同した教育プログラムの立上げ
多様性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本社-海外間の人財交流(派遣・登用)を拡大 ● グローバルプロジェクトチーム活動を制度化 ● 男性・女性・多国籍の次世代リーダーを育成
挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ● 提案型プロジェクトの拡大、公募制の導入 ● 年功的賃金の見直しと評価制度を改定

島津人



高い倫理観と道徳観を持ち、相手の期待に応える

2025年度経営目標

財務目標

業績

売上高	営業利益	営業利益率
5,500 億円	800 億円	14.5%

資本効率

ROE 12.5% 以上	ROIC 11.0% 以上
---------------------	----------------------

株主還元

配当性向 **30.0%**以上を維持

非財務目標

気候変動対策

事業活動と製品使用に伴うCO₂排出量の削減

- ・自社排出量 : **1.0**万t-CO₂ ⇒ **ゼロ**
- ・削減貢献量*1 : **1.2**万t-CO₂

(2025年度) (2050年度)

*1当社エコプロダクツPlus制度認定製品を利用したことによる顧客のCO₂削減量

女性活躍推進

女性管理職比率(連結) **12%** ⇒ **15%**

(2025年度) (2030年度)

04 株式情報

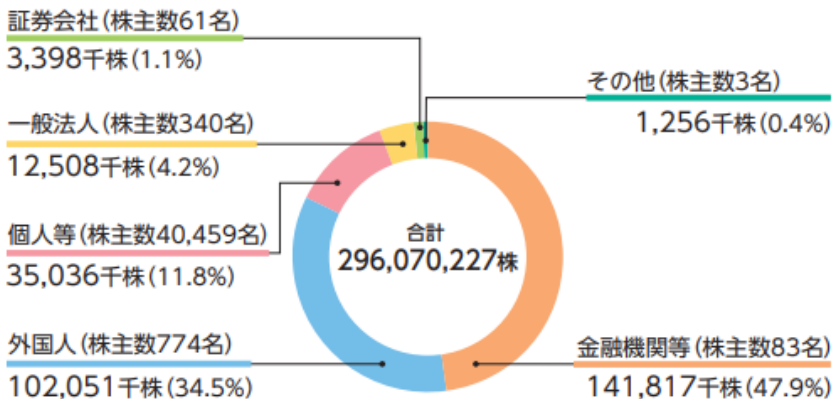
株価推移

- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆2,257億円（2023年3月31日時点）

株式の状況(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数：800,000,000株
 発行済株式総数：296,070,227株
 株主数：41,720名

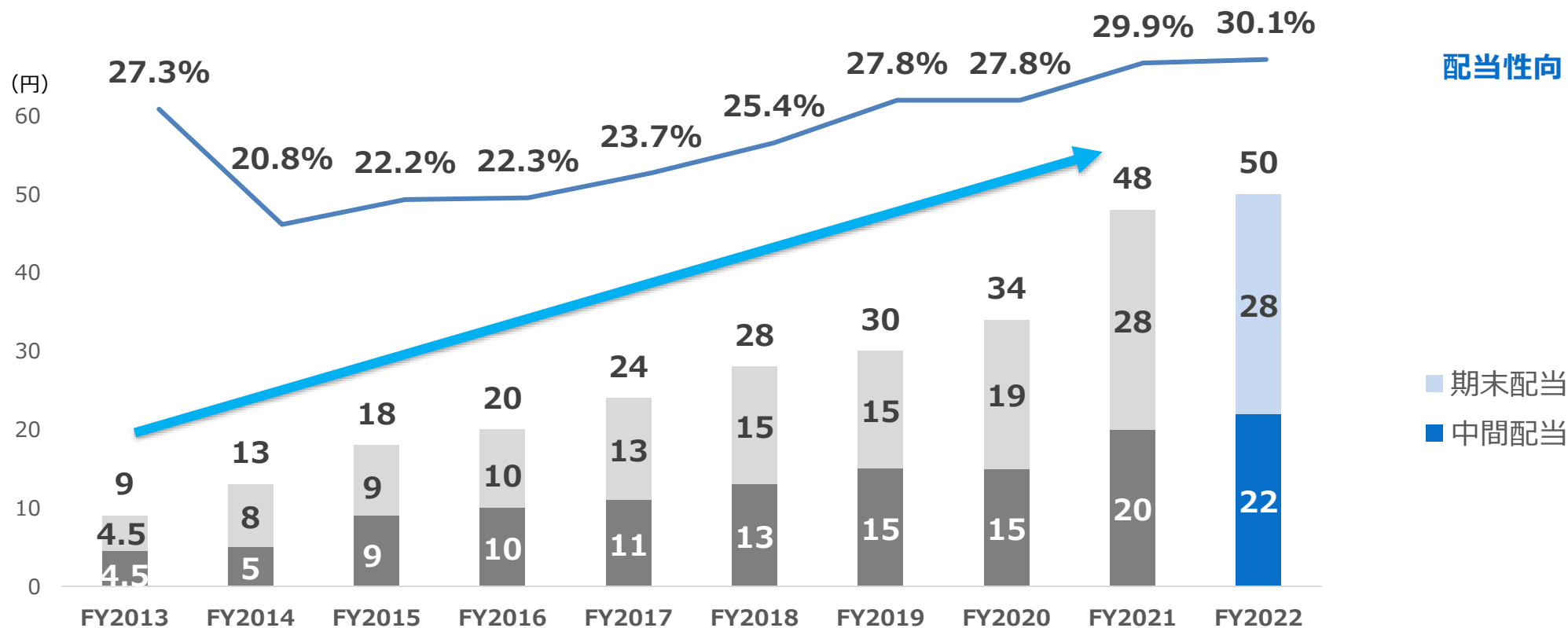
所有者別株式分布状況



9年間で株価は**4.5**倍に成長



- 方針：研究開発など成長に向けた積極的投資とステークホルダーへの着実な還元を実施
- 配当：2022年度 中間22円、期末28円 年50円 9期連続増配予定



● FY2022は予定



本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673
E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp